

消毒薬の使用について

疾患モデル教育研究センターでは、施設環境維持のために各種の消毒薬を用意しておりますので、用途に合わせてご利用ください。

表１ 消毒薬の効果

商品名	分 類	有 効 成 分	一般細菌	芽 胞	真 菌	一般ウイルス
消毒用エタノール	アルコール系	エタノール	○	×	○	○#
ヒビテン	ピグアナイド系	クロルヘキシジン	○	×	△	×
アノン	界面活性剤系	塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	○	×	○	△
フロクワット	第４級アンモニウム塩	アルキルジメチルベンジルアンモニウム	○	×	○	△
ピューラックス	塩素系	次亜塩素酸ソーダ	○	△	○	○

○：有効 △：効果が期待できないことがある ×：無効

#：エンベロープが無いものは不活化されにくい。

表２ センターでよく使用される消毒薬の使用例及び推奨箇所

商 品 名	希釈倍数	使 用 例	推奨箇所	注意事項
エタノール （１００％）	原液使用	使用液を常備	ケージ	引火性あり
ヒビテン （５％）	２５倍	水１０Ｌ：液４００ｍｌ	棚	有機物の混入で効果が低下
アノン （１５％）	３３３倍	水１０Ｌ：液３０ｍｌ	床、棚	石鹼・タンパクの存在で殺菌効果低下
フロクワット （１０％）	３００倍	水１０Ｌ：液３３．４ｍｌ	床、棚	洗剤と化学反応をおこすことがある
ピューラックス （６％）	３００倍	水１０Ｌ：液３３．４ｍｌ	床、給水ビン	金属腐食性あり、特有臭